

櫻守の会

2024年12月号

2024年12月1日(通巻307号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 96名(11月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

ゴルフボランティア

浅田 洋明

毎年秋になると朝もやの中、凜とした空気に包まれたゴルフ場を思い出します。

私とボランティアと名の付くものとの関りは20年ほど前に西宮名塩へ引っ越した頃に遡ります。当時の趣味はゴルフで、馬鹿が付くほど年中明けても暮れても嵌ってた時期で、当時住んでいた大阪より兵庫のゴルフ場へアクセスが良い名塩を住まいに選んだほどでした。練習場所は名塩にある読売ゴルフの練習場で、ここはプロゴルフのトーナメントも開催されておりました。ゴルフに嵌っているとと言っても所詮はサラリーマンゴルファー、お金も時間も限られます。そこで無給ながらも選手のプレーを真近かに見られるトーナメントのボランティアがある事を知り申し込みました。

意外にもその人気は高く、特に人気業務のスコアラーは最低4日間の参加がないと抽選にも入れてもらえません。その頃の仕事は営業でしたので、休みを何とかやり繰りするため必死で成果を挙げてました。スコアラーと言うのは、プレーする選手一組(3人)に一人が付き、全ての打数をカウントし、ホール終了ごとに集計本部へ通信機で連絡するので、慣れるまでは大変でした。今は便利な通信端末がありタッチパネル操作で済みますが、当時は紙に鉛筆で正ちゃんマークで数え、グリーン裏で小声でトランシーバーで連絡しては選手たちを追いかけるの繰り返しでした。朝4時台に集合し、1日10km歩いてヘトヘトでしたが、何といてもティーグラウンドからずっと選手のプレーを目の前で見て、プレー後のスコアカード確認までしますので、たまに会話できたりサインボールを貰えるご褒美は大きな魅力でした。またあの頃は石川遼君フィーバーで大盛り上がり、写真はパシャパシャ、先回りして走るわ、お祭り騒ぎで裏方は止めるのに大忙しでした。特にゴルフを知らないおぼちゃんの追っかけグループの登場にはびっくりで、試合に関係なく騒ぐし触ろうとするわで、遼君専門のセキュリティーまで付いてました。遼君とは何度か一緒しましたが、とても礼儀正しくいい少年でした。

また選手も色々で、一部のトッププロを除いて大半のプロは試合に出ても予選通過しないと賞金ゼロで大赤字。試合ごとのエントリーフィー・遠征費やらで年間の経費は数百万で、一千万稼がなければ生活も成り立たず大変、特にシーズン終盤の試合は真剣そのものでピリピリ。優勝争いも見て楽しいですが、シード権ボーダーライン上の数万円の争いも感慨深いものがありました。かと思えば、TVで人気キャラの丸ちゃんはコースの文句ばかり言っていました。



し、真面目そうな片山晋呉さんはいまうまいかないことがあると、キャディーバッグを蹴るわパターをバンカーに投げ込むわは当たり前で、周りに当たり散らすのはボラ仲間でも有名でした。話聞いて面白かったのは、泊まっている有馬温泉の宴席代やコンパニオン代を尾崎建夫さんと握り勝負して勝ったと自慢げに教えてくれた飯合さん。プレーの空き時間に道具やスイングのことを教えてくれるプロや、煙草を誘ってくれるプロなど気分転換の一環でしょうが色々楽しいこともありました。そんなボランティアを10年以上続けましたが、ひじの故障からゴルフから離れる事となり今は参加してません。いい思い出となりましたが、機会があればまたいつかやってみたいと思います。

***** 目次 *****

P1 序文：ゴルフボランティア
 P2 2024年11月度活動実績表
 P3～5 活動報告：桜の園（亦楽山荘）、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、廃線草刈り、芋煮会
 環境体験学習
 P6～7 お知らせ・案内：運営委員会報告、新人技能研修会、公開講座、”笹部新太郎”勉強会 会員募集、
 P7～8 櫻守ひろば：「北摂里山大学」を受講して ⑤、亦楽山荘記録
 P8 活動予定表

< 2024年11月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	数人
10月24日 (木)	桜の園(亦楽山荘) 19名	曇り	廃線草刈り	19
10月26日 (土)	ぶらざこむ1 7名	—	会報11月号印刷・発送/運営委員会	7
10月27日 (日)	桜の園(亦楽山荘) 18名	曇り	(エントランス広場周辺) 常緑樹の間伐他	6
			(遠見の道) 倒木処理・常緑の間伐・シダの刈り取り他	9
			(親水広場他) 芋煮会の準備、周辺の清掃他	3
10月29日 (火)	青葉台 11名	曇り 後雨	(ゆずり葉の森～キツネの森) 資材調達、園路のチェック	3
			(キツネの森) 枯れ木伐採	3
			(キツネの森) 草刈り	5
11月 3日 (日)	武庫山の森 20名	晴れ	(武庫山ルート) 枯マツの処理と園路の見直し改善	6
			(東口) 園路際の草刈り、移植モミジ周辺の草刈りと日当たり改善	7
			(光ガ丘) 見直し改善のための常緑樹処理	7
11月 5日 (火)	宝塚西公民館	—	芋煮会買い出し・下ごしらえ	6
11月 6日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 40名	晴れ	芋煮会	40(7)
11月 8日 (金)	桜の園(亦楽山荘) 15名	晴れ	(廃線跡園路、桜坂) 倒木処理・枯れヤマザクラ伐採	8
			(遠見の道) 倒木処理・常緑の間伐・シダの刈り取り他	7
11月13日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 13名	晴れ	(遠見の道) 倒木処理・常緑の間伐・シダの刈り取り他	7
			(滝見の道・外周路) 倒木処理・枯れ木伐採他	5
			(内周路全般) 園路整備・確認、枯葉処理他	8
11月14日 (木)	ゆずり葉の森 14名	晴	逆瀬台小3年生・環境体験学習 児童35名 先生3名 ①森のクイズ②ノコギリ体験③木の成長と年輪④山登りと自然観察	14
11月16日 (土)	武庫山の森 19名	くもり 後雨	(塩谷ルート) 石階段の補強と園路の見直し改善	6
			(育苗地) 笹部桜の日当たり改善のための間伐	6
			(武庫山ルート) 枯マツの処理	7
11月19日 (火)	山手台 16名	曇り	(南斜面・大階段) 枯れ松2本伐採 大階段の落ち葉清掃	6
			(北斜面;水平道下部) 除伐・間伐	5
			(北斜面;平地) 草刈り、桜の手入れ、クズ根の処理	5
延べ参加人数				205(7)

< 活動報告 >

桜の園（亦楽山荘）

10/27（日） 天気も曇り空で朝から蒸し暑さを感じましたが、木陰に入ればさほど暑さを感じずに作業することができました。前回から継続して実施している遠見の道、園路周辺の枯れ木の伐採、常緑樹の間伐、シダの刈り取りを進めました。株立ちの枯れ木が多く、20～30mしか進めませんでした。エントランス広場

では、高木のキササゲの伐採、安全を確認してチルホールで牽引して実施しました。また、トンネルより川側斜面下部の主にアラカシなどの常緑樹を間伐しました。

来月実施予定の芋煮会の準備と確認、および周辺の清掃を実施しました。

11/8 (金) 今年は紅葉にもまだ時間が掛かりそうですが、気温も平年に近く下がりやと秋らしい作業日和になりました。廃線跡トンネル近くに大きな倒木が園路に覆いかぶさっていたのを、6日に確認し、ひとまず一次処理していたものを、大きな幹は路肩に、枝葉も目立たない様に処理しました。桜坂上部で立ち枯れなった大きなヤマザクラの処理が残っていたので、今回チルホールで牽引して安全に伐採しました。その後二班に分かれ、外周路の倒木処理と桜坂の常緑樹間伐を行いました。

継続実施している遠見の道の整備では、常緑灌木の間伐、倒木、枯れ木の伐採処理、園路両脇のシダの刈り取りを実施しました。当面続ける予定です。

11/13 (水) 秋晴れとなり、少しずつ進む紅葉を眺めながら、気持ちよく作業することができました。前回の活動日に確認した、滝見の道モミジのビューポイントの谷の倒木処理、その先での枯れコナラの伐採処理、次に外周路に移動し、枯れ木の伐採、常緑樹の間伐などを行いました。

紅葉シーズンのメインルートである内周路の園路安全確認、園路周辺の整備を進めました。特に、城ヶ丘広場周辺と隔水亭ビューポイント、東屋下ビューポイント周辺を綺麗にしました。また、ブロアーを用いて落ち葉の除去も行ない歩き易い園路としました。
(濱野 記)



10/27 急斜面の常緑間伐作業



11/08 枯れヤマザクラ伐採作業



11/13 滝見の道倒木処理作業

青葉台

10/29 (火) 10月も下旬になりすっかり秋らしくなりましたが、天気予報では午後から雨とのことで、雨が降り出せば作業終了の予定で作業を開始しました。本日はゆずり葉の森～青葉台で11/14(木)に行われる逆瀬台小学校の環境体験学習に備えて、キツネの森の整備を中心に作業しました。1班は当日に使う資材の準備と通過経路のチェックを、2班はキツネの森園路頭上に被さる大径の枯れソゴの伐採を、3班はキツネの森園路両脇と西奥部南斜面の草刈りを行いました。12時頃から雨が降り出したので午前中で作業は終了しました。
(加賀野 記)



キツネの森西奥南斜面で繁茂するシダを刈り取り



キツネの森園路に覆い被さる枯れソゴ大径木を伐採

ゆずり葉の森

原稿締め切りの関係で、今月の活動は次月号に掲載します。

山手台

11/19(火) 1班は南斜面の枯れ松伐採と大階段の落ち葉の清掃を行い階段がきれいになりました。2班は北斜面水平道下部の林内の除伐を行い林内が明るくなりました。3班は北斜面で桜植樹地の周囲まで広げて草刈りを行い、きれいになりました。また桜の手入れやクス根の処理も行いました。天候は少し寒いぐらいでしたが、皆さん熱心に作業に取り組んでおられました。ご苦労様でした。(岡 記)



南斜面；枯れ松の伐採処理



北斜面；林内の除伐



桜植樹地；草刈りと桜の手入れ

武庫山の森

11/3(日) 前日までの大雨の影響もなく爽やかな秋晴れの中、気持ちよく作業をすることができました。武庫山ルート入口の県が処理した枯マツを綺麗に整理しました。その後園路の見通し改善のため常緑樹を中心に間伐をしました。東口から南谷堰堤までの園路際の草刈りをしました。その後、植樹したモミジ周辺の草刈り、日当たり改善のため競合木を処理しました。光ガ丘口からの園路の見通し改善をしました。冬の様子を見てもう少し常緑樹を切る予定です。

11/16(土) どんよりとした曇り空のなかでの作業でした。塩谷ルートのビューポイントに登る石階段周辺の土が長年の雨で流されてきたので、階段が崩れる前に鉄筋と杉板と石でしっかりと固定しました。育苗地の笹部桜の日当たりを邪魔しているクスノキ、コナラ、エノキの高木を大鋸とチェーンソーを使って処理したことで育苗地全体が明るくなりました。武庫山ルートの園路側に倒れそうな枯マツを処理しました。木が混みあった場所で周りの木を整理してからチェーンソーを使い処理しました。昼食時に雨がぱらついてきたので午後からの作業は中止にしました。(横山 記)



南谷堰堤付近での草刈り



育苗地のコナラ伐採



ビューポイント登り口の階段固定

廃線敷草刈

10/24(木) 今年最後の廃線敷草刈りは19名とマズマズの参加で、前日の雨で湿気も多く、10月下旬でも蒸し暑く汗ばむ活動日でした。今回も同様に、刈り払い機8台、4班構成で作業を開始しました。この

時期の草としては、あまり伸びていなくて、作業は順調に推移しました。このため予定範囲が終わった班から隣の班への応援や、余裕時間での園路脇の枯木処理等を行いました。各班とも12時には概ね完了しました。親水広場で機材手入れ等を行い、予定より早い13時に終礼をしました。

(清水 記)



リンボク広場 伸びた草を一気に刈る



第一トンネル手前 枕木の間は手刈作業

芋煮会

11月6日(水)、いつまでも暑かった気温が少し落ち着き、暑くも寒くもなく、最高の芋煮会日和となり、心地よい青空の下、会員33名、会員外7名の計40名の参加で、芋煮会を開催しました。猪肉(味噌味)と鶏肉(醤油味)の2種類の芋煮汁は、どちらも美味しくできました(自画自賛)。ぜんざいも合わせると、多めに準備しすぎたのか、少し余りそうになりましたが、それもしっかりみんなのお腹の中へ。たくさんの方に差し入れ頂いたお酒や焼き芋、黒豆、ギンナンなどで、たくさん飲み、たくさん食べ、秋の楽しい一日を過ごすことができました。

(神野 記)



乾杯してスタート



芋煮汁を堪能する



開会前に集合写真

環境体験学習 (於：ゆずり葉の森)

11月14日(木) 暖かく穏やかな天候に恵まれ、逆瀬台小学校3年生の環境体験学習「秋の森の学校」を行いました。昨年は雨天中止となったので、2年振りの開催となります。白瀬川広場で、森のクイズで木や山の大切さ、ノコギリを使っての丸太切りとワッペン作り、木の成長と年輪の仕組みを学びました。その後ゆずり葉ピーク・キツネの森経由で学校まで歩いて帰りました。途中でいろいろな草木やきのこ類、駐車場下のアリ地獄などを観察しました。子供たちはノコギリ体験が面白かったと言っていました。五感を活用して学校の周りの自然に触れ、感動を共有する体験、子供たちの未来のためにSDGsを考える場として、今後も続けていけたらと思います。

(瀧本 記)



森のクイズで森・木の役割を学ぶ



ノコギリ体験・ワッペン作り



自然観察をしながらの登山

<お知らせ・案内>

運営委員会報告 (2024年10月度)

代表 近藤 茂

2024年10月26日(土) 9:40~11:30 ぷらざこむ1

1. 夏季活動の暑熱対策・・・年々暑さが増していることを考慮して、2025年度より下記の内容で実施することにした。
 - ・7月～9月の3か月間 全活動地とも活動時間の短縮を行う（桜の園以外の4活動地は、原則午前中のみ活動になる）。期間外であっても暑い時は、活動地幹事の判断で時間短縮を行う。
 - ・武庫山の森の開始時刻を9:50→9:30に20分早くする（通年）。早く始めて暑くならない内に終えるため。
 - ・桜の園の8月の活動回数を2回にする（お盆期間中は行わない）。
2. 新人技能研修会・・・武庫山の森の活動日 2025年1月18日(土) 予備日2月2日(日)に行う。参加希望者(10名位)には清水副代表より詳細内容の連絡がある。
3. 「櫻守ひろば」の新企画：仮題「活動地のグルメ山の幸」
 - ・多くの会員がいろいろな山の幸を採り、各自の調理方法で楽しんでいる。これらの会員より自由に気楽に紹介記事を投稿していただき、会報等で紹介したいと考えている。
 - ・11月度の運営委員会で、原稿の集め方（誰から、どのような内容の原稿を集めるのか）、記事の掲載方法（どこにどのような形で掲載するのか）について議論する。
4. 山手台Cokoセンターの草刈り・・・CoKoセンターからの依頼により、2回/年を目途に草刈りを受託することになった。山手台幹事で、草刈りを長期間無理なく実施する方法を詰めて行く。

新人技能研修会のご案内

運営委員会

新入会員を対象とした「新人技能研修会」を、下記の内容で行います。この研修会は、里山整備に当たり、安全作業の基本と、実用的な作業方法を習得していただくための重要な研修会であります。また、既に、チェーンソーや刈り払い機の研修も受講され、活動に精通されている方も、里山整備の基本を再認識するために是非参加していただきますよう、ご案内いたします。対象の皆さまには、詳細を別途連絡いたします。

- ① 開催日時、場所 2025年1月18日(土) 予備日：2月2日(日)「武庫山」の活動に合わせます。
- ② 研修内容
 - ・午前 座学 : 里山の維持、管理（木を切る目的や方法、鋸作業の安全等）
 - ・午後 実技 : 活動地に移動（鋸作業の実際、ロープワーク、剪定、枝処理、道具手入れ 等）

公開講座のご案内

運営委員会

下記の要領で櫻守の会主催の公開講座を開催します。

日時：2025年2月1日(土) 13:30～16:00

場所：宝塚市立男女共同参画センター・エル（宝塚駅前ソリオ2 4階）

第1部 講師：三田樹木医事務所 代表 小西朋裕氏

テーマ名「樹木医がお奨めする 桜の育成技術」

第2部 発表者：近藤茂 テーマ名「櫻守の会のヤマザクラの育成」

定員：50名（先着順） 参加費：無料

参加申込受付：2024年12月16日より

HPの申し込み受付ページ、近藤茂 080-5709-3630、konkon1253@yahoo.co.jp

※第1部講師の小西氏より、サクラを育てるポイントについて樹木医の観点から判りやすく説明していただ

きます。当会ではこれまで各活動地にてサクラを植樹してきましたが、今回の講義にて良かった点と改善すべき点が明確になってきます。

※昨年もサクラをテーマにした公開講座を開催した所、非常に好評で定員を超える受講希望者がありました。先着 50 名で締め切りますので、早めに参加申込をしてください。

“笹部新太郎”勉強会 会員募集

近藤 茂

下記の要領で“笹部新太郎”勉強会を開催します。

- ・開催の目的：櫻守の会の原点の地である亦楽山荘（桜の園）を作った笹部新太郎氏について学び、亦楽山荘の魅力を確認する。
- ・実施する内容：
 - 1) 笹部新太郎氏の経歴、業績等を学ぶ（座学）
 - 2) 笹部氏が亦楽山荘で行ったことを学ぶ
 - ①亦楽山荘記録の読み解き
 - ②桜の園（亦楽山荘）にある笹部氏の遺構の現地確認
 - 3) 笹部桜の見学（岡本南公園＝桜守公園） 4月8日頃
- ・期間：2025年2月～5月（全4回の予定・・・日程は参加者と相談して決めます）
- ・参加資格：櫻守の会の会員ならば誰でも可 定員：決めません

※ 希望者は近藤まで 080-5709-3630 kondo3410@suisui.ucom.ne.jp konkon1253@yahoo.co.jp

< 櫻守ひろば >

「北摂里山大学」を受講して ⑤ （全9回）

清水 厚真

第4回講座 県立人と自然の博物館、皿池湿原及び生態系（稀少植物）の見学と保全管理

今回は、三田市の天然記念物「皿池湿原」を訪れ、山と湿原はどのような関係があるのか確かめ、8月に咲く稀少植物を観察し、生態系や管理の実際を学ぶカリキュラムになっています。

1. 皿池湿原と保全活動について

- ・1990年代に開発事業が浮上し、湿原喪失の危機が迫ってきました。地図で確認すると、高速道路とテクノパークに挟まれ三木市と隣接した地区に大小10余りの湿原・ため池が確認できます。湿原保護のため、普段は立入禁止区域に指定しているそうです。
- ・この貴重な生態系を守るべく「皿池湿原の守り人」が結成され、三田市にある「県立人と自然の博物館」の技術指導を受けながら、保全管理を担っていらっしゃいます。
- ・湿原を徐々に浸食する、ササ類や高木の伐採や、希少動物の産卵場所の保護、園路の整備、見学者の案内など精力的に活動されています。
- ・森を暗くする高木類の伐採とその処理、湿地を浸食するヌマガヤ等の刈取り、園路のイノシシが掘り起こした跡の修復等々、維持管理の労力は終わりの無い活動のようです。

2. 皿池湿原を守っている皆さん

- ・ひょうご森林林業協同組合連合会、三田市里山のまちづくり課
市が全面的に支援し、開発から湿原を守って来た中心的な皆さん
と、さらに、「県立人と自然の博物館」の技術的なバックアップなどの協力関係が明確で、羨ましい限りでした。



湿原とサギソウ



湿原を浸食する、ヌマガヤ

現地活動の拠点である、作業小屋の設置や器具類の配備が充実していることや、市民参加や小学校の見学会等が盛んで、同志の活動団体との交流など、賛同者や理解・協力者の醸成が手応えある形で進められていることに、感心しました。

- ・案内役の方の発言で、「里山整備は、始めたら休めない」、また「ボランティア活動を楽しむには、単なる労働力とみなしてはいけない」全く同感で、この考え方は市（行政の支援者）とも共有化しているそうです。心強いことです。 ～以下・次号～



充実した現地倉庫

酒ミュージアムの冬季展で笹部氏の「亦楽山荘記録」全冊を展示

さくら守太郎

酒ミュージアム（公財 白鹿記念酒造博物館）笹部さくら資料展示室の冬季展にて、笹部新太郎氏自筆の「亦楽山荘記録」全 56 冊が展示されます。「亦楽山荘記録」は、笹部氏が亦楽山荘に通い始めた昭和 3 年頃より約 20 年間にわたり活動した内容を詳細に記録したものであり、それを読み解くことにより笹部氏が何を行ったのか、また現在の桜の園（亦楽山荘）に存在する氏の遺構を知ることが出来る貴重な資料です。

期間：2024 年 12 月 4 日～2025 年 1 月 13 日 1 月 25 日～3 月 3 日（火曜日休館）

開館時間：10:00～17:00

入館料：500 円 65 歳以上は 400 円（免許証等の公的証明書を提示）

※12 月 8 日（日）14:00～14:30 ミュージアムトークが開催されます。学芸員の方より展示品について説明（笹部氏が考えていたことや行ったこと等）していただくことで、大変理解が深まります。入館料のみで参加できますので、是非ミュージアムトークにご参加ください。

< 活 動 予 定 表 >

月別行事予定表

12 月		場 所 等	1 月		場 所 等
12 月 1 日	日	武庫山の森	1 月 5 日	日	武庫山の森
12 月 2 日	金	桜の園（亦楽山荘）	1 月 10 日	金	桜の園（亦楽山荘）
12 月 11 日	水	桜の園（亦楽山荘）	1 月 15 日	水	桜の園（亦楽山荘）
12 月 13 日	金	ゆずり葉の森	1 月 18 日	土	武庫山の森／新人技能研修会
12 月 17 日	火	山手台	1 月 21 日	水	山手台
12 月 21 日	土	武庫山の森	1 月 23 日	金	ゆずり葉の森
12 月 24 日	火	青葉台	1 月 25 日	土	会報印刷／運営委員会
12 月 25 日	水	会報印刷／運営委員会	1 月 26 日	日	桜の園（亦楽山荘）
12 月 26 日	木	桜の園（亦楽山荘）	1 月 29 日	水	青葉台

集合時間：桜の園（亦楽山荘）親水広場 9 時 50 分、武庫山の森 9 時 50 分、他の 3 活動地は 9 時 30 分。
天 候：当日朝 6 時 55 分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】いつまでも続いた暑さが落ち着き、やっと秋が訪れたと思ったら、もう師走。今年も暖冬かと思いきや、すっかり寒くなるとの予報です。気温の急激な変化に負けず、体調に留意して、元気に年末をお過ごし下さい。
(神野 記)